

内装連・防火壁装施工管理者の情報紙です

発行 日本内装材連合会

東京都中央区銀座1-4-3
カルチェブラン・ギンザ2F
TEL: 03-3564-4088 (代)



Premie High-end Interior

世界の最上級のインテリア

株式会社トミタ www.tominet.co.jp

tomitaTOKYO 東京都中央区京橋2-2-1 京橋エドグラン1F
東京 TEL.03-5798-0082 大阪 TEL.06-6281-8480 福岡 TEL.092-781-2651



主な記事内容

- * 安全・安心の防火内装仕上げ
- * 壁紙張替え工事の主な作業事項
- * 壁紙剥がし・下地調整とシーラー
.....1面
- * 防火ラベル施工管理者の遵守義務
- * 壁装施工団体協議会からの注意喚起
- * 防火壁装施工管理者資格取得の勧め
.....2面
- * 組合だより(大阪・京都編)
- * 内装材料案内HPリニューアル...3面
- * 組合だより(東京・東北編)
- * 東京・東北最新情報&近辺紹介...4面

防火内装仕上げの壁紙張替えは、この認定条件に適合することが必要です。古い壁紙は残さず全部剥がして下地基材面を露出させてから新しい壁紙を張る。
正しい防火壁装材で安心・安全なインテリア作りに心がけましょう。

※市場の壁紙の大体は右表のいずれかのパターンですが、稀に他のパターンもあり得ます。実際の商品カタログをご確認ください。

壁紙	下地との組み合わせで認定される防火性能(直張り)			
	不燃下地(金属石膏ボード除く)	不燃石膏ボード	準不燃下地	金属下地
A壁紙	NM-0000 不燃材料	NM-0000 不燃材料	QM-0000 準不燃材料	NM-0000 不燃材料
B壁紙	NM-0000 不燃材料	NM-0000 不燃材料	QM-0000 準不燃材料	QM-0000 準不燃材料
C壁紙	NM-0000 不燃材料	QM-0000 準不燃材料	QM-0000 準不燃材料	RM-0000 難燃材料
D壁紙	NM-0000 不燃材料	QM-0000 準不燃材料	QM-0000 準不燃材料	—
E壁紙	QM-0000 準不燃材料	QM-0000 準不燃材料	QM-0000 準不燃材料	RM-0000 難燃材料
F壁紙	QM-0000 準不燃材料	QM-0000 準不燃材料	QM-0000 準不燃材料	—
G壁紙	QM-0000 準不燃材料	RM-0000 難燃材料	RM-0000 難燃材料	—

壁紙リフォームは大臣認定の防火材料で

家族を守る・みんなを守る
安全・安心の防火内装仕上げ

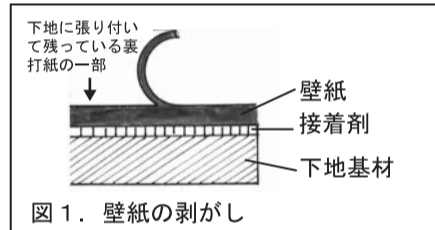


図1. 壁紙の剥がし

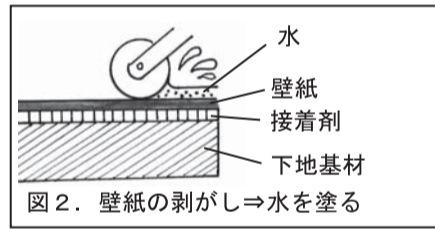


図2. 壁紙の剥がし⇒水を塗る

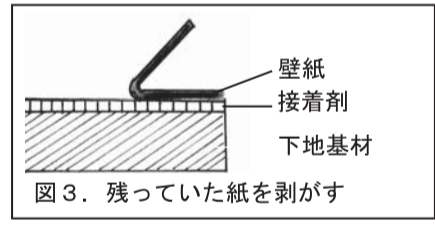


図3. 残っていた紙を剥がす

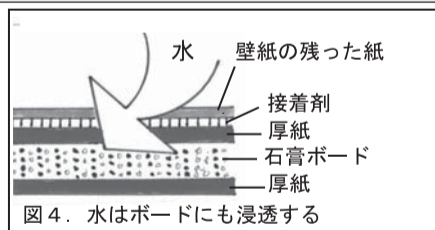


図4. 水はボードにも浸透する

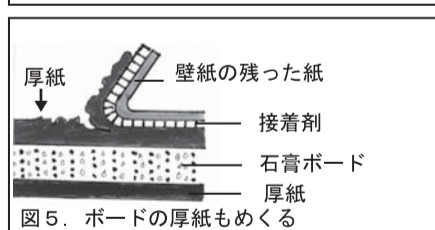


図5. ボードの厚紙もめくる

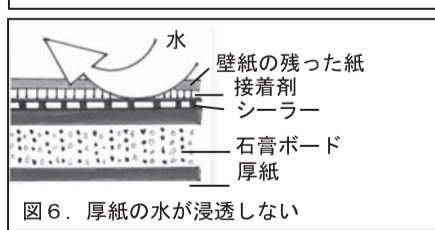


図6. 厚紙の水が浸透しない

壁紙剥がし・標準剥離方法
通常の壁紙は、剥がす時に裏打ち紙が層間剥離し、裏打ち紙の表面側は軽く剥がれまがすが、下地に張り付いている側は、図1.で見えるようにそのまま残る。
標準剥離では、この下地に張付いて残っている紙も剥がします。その方法は、残った紙の表面に図2.で見えるように水をたっぷり塗り、張り付

下地調整とシーラー塗布
シーラーは下地面に樹脂の皮膜を構成し、下地への水の浸透をコントロールすると共に、下地からの水分・アルカリ等がにじみ出るのを防ぐのに、モルタル等のセメント系下地には欠かせない下地調整剤です。壁紙標準施工法では、塗装等の下地に限らず石膏ボードや合板等の下地でも、シーラーを塗布する事

壁紙張替え工事の主な作業事項とお願い

- | 主な作業項目 | 補足説明とお願い |
|------------------------|--|
| ① 現場訪問・調査・打合せ | 美術工芸品など貴重品はお客様の手に保管して頂くようにお願いする。 |
| ② 家具類の片付け | |
| ③ 照明器具・設備等の取外し | 照明器具・設備などの取外しには、専門職が必要な場合もあり、また、仕上げ方法でご相談し、確認する必要があります。 |
| ④ 清掃・養生 | 剥がし方には「簡易型」と「標準型」「特殊型」があります。防火壁装には、(左記イラスト説明図参照)標準型が必要です。 |
| ⑤ 古い壁紙の剥がし | |
| ⑥ 下地の補修 | 次の張替えの際に、剥がし易く、部屋の(建築構造)を守るためにも、シーラー塗布が大切です。 |
| ⑦ シーラー塗布 | |
| ⑧ 下地の平滑・パテ処理 | 下地の状況、壁紙の種類などにより、必要な下地の平滑度が異なります。壁紙標準施工法の平滑度表(左下欄参照)をご確認願います。 |
| ⑨ 壁紙張り | 壁紙の種類によって、必要な施工技術・手間・所要時間等が異なります。「壁紙の種類と施工性能評価表」(★壁装施工団体協議会・資料問合せ) |
| ⑩ 清掃・自主検査
防火壁装ラベル表示 | |
| ⑪ 照明器具・設備等
家具類の戻し | 家具の配置等は事前に確認する。 |
| ⑫ お客様検査・引き渡し | 壁紙を張り終えたら、接着剤が乾燥・接着し終るまで、約24時間ほどの間は、空調機を運転したり、窓を開けたりしないで、そつと養生時間をおき、養生時間後は、部屋の空気を入れ替えて下さい。 |
| ⑬ 養生・乾燥待ち | |

★資料問合せ先: 壁装施工団体協議会 電話03-3431-4537・FAX03-3431-4667

平滑度	平滑度	標語	該当する壁紙のイメージ
1級	鏡面用に(全面パテ)		鳥の子・ベンキ・エナメル調・光沢のある壁紙
2級	極めて平滑に		薄手の紙・織物・オレフィン・ビニル壁紙
3級	十分に平滑に		シボ(エンボス)の浅い壁紙・表面強化等
4級	平滑面に		厚手の壁紙・発砲加工品・ポリウム感のある壁紙
5級	平らな面に		厚手の壁紙(張替え適合品等)ポリウム感